



# 今月のイベント

9月14日(土)  
午後7時～午後8時50分

## 「星の色を見比べよう」

赤や白などいろいろな色の星を見てみよう。



9月28日(土)  
午後7時～午後8時50分

## 「土星の観測開始」

大人気惑星土星のシーズン到来。  
今年はとっても環が細いです。

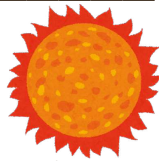


## 【お昼の観測会】

9月21日(土)・22日(日)  
午後10時～午後12時

## 「太陽観測会」(大文字まつり会場)

特別な望遠鏡で太陽を観測できます。  
お祭りを楽しむついでに太陽も見よう。



# 9月天文カレンダー

- 2日(月) 月と水星が接近(明け方)
- 3日(火) 新月 ●
- 5日(木) 水星が西方最大離角  
月の距離が遠い(40万6211km)
- 7日(土) 白露(太陽黄経165°)
- 9日(月) 水星とレグルスが接近(明け方)  
土星が衝
- 10日(火) 木星が西矩  
月面Xが見える(22時ごろ)
- 11日(水) 上弦の月 ●
- 17日(火) 中秋の名月(十五夜)
- 18日(水) 満月(ハーベストムーン)  
月の距離が近い(35万7286km)
- 21日(土) 海王星が衝
- 22日(日) 秋分(太陽黄経180°)
- 25日(水) 下弦の月 ●
- 28日(土) 紫金山・アトラス彗星が  
近日点を通過(明け方の空)
- 30日(月) 水星が外合

北コミHP

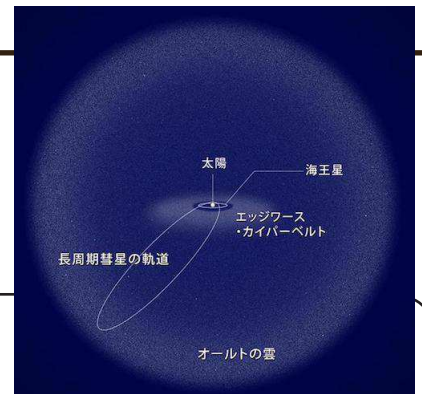
Facebook

X(旧Twitter)



## ～7千天文情報～

### 「彗星はどこから来るの？」



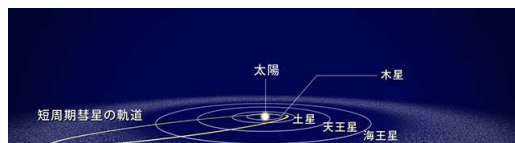
オールトの雲→  
まだ直接観測はされていません

オールトの雲

今月の28日に「紫金山・アトラス彗星」が太陽に最も近づく近日点を迎えます。私たちの住む地球がある太陽系には、惑星(例:地球、土星)・衛星(例:月)・小惑星(例:イトカワ)等たくさんの天体があります。その中で「太陽に近づく」と尾を出すものを彗星と呼びます。彗星の本体(核)は直径数キロの氷で、中に岩石や金属の塵を含んでいます。太陽に近づくと氷が溶け、ガスや塵が美しい尾となって吹き出すのです。(この尾と地球が交差すると流星群として観測されます)

ではそんな彗星はどこからやってきているのでしょうか。彗星の研究によると地球で200年経つまでに太陽を1周回る彗星(短周期彗星という)は海王星の外側にある「エッジワース・カイパーベルト」と呼ばれる領域から、それ以上時間をかけて太陽を1周回る彗星(長周期彗星という)はより遠い「オールトの雲」からとされています。今回の「紫金山・アトラス彗星」は太陽を数万年かけて1周すると考えられているため、オールトの雲からやってきたということになります。

私たちの寿命を考えると彗星の多くは二度と見る事ができないものなので、チャンスがあったら観測に挑戦してみましょう。



短周期彗星の軌道

太陽 木星 土星 天王星 海王星

エッジワース・カイパーベルト

←エッジワース・カイパーベルト  
準惑星の冥王星はここにありますが

※「紫金山」は本によっては中国読み「ツーチンジャン」と記載されていることもあります。  
※紫金山アトラス彗星は非周期彗星(二度と太陽系に戻ってこない彗星)とする説もあります。  
※エッジワース・カイパーベルトはこの存在を提唱した天文学者ケネス・エセックス・エッジワースとジェラルド・カイパーの名前からつけられています。単にカイパーベルトと呼ぶこともあります。